アールエム東セロ株式会社

当社フィルム製品の温室効果ガス排出原単位のデータ公開について

2025 年 12 月 1 日

アールエム東セロ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松坂繁治）は、当社フィルム製品の温室効果ガス排出原単位(以下「製品 GHG 排出原単位」)を公開しましたので、お知らせします。

地球温暖化防止と気候変動に対する取り組みは地球規模での課題であり、当社はプラスチックフィルムメーカーとして、自社の温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。カーボンニュートラル社会を実現するためには、バリューチェーン全体での継続的且つ着実な取り組みが求められます。当社は取り組み途上ですが、バリューチェーン全体での排出量削減に貢献するため、当社フィルム製品の現時点での製品 GHG 排出原単位を公開します。

今回公開するデータは、政府及び業界のカーボンフットプリント算定ガイドラインや ISO 規格を参考に当社で自主的に定めたルールに沿って算定しています。算定に用いた GHG 排出係数について、Scope1,2（自社が直接関わる活動)は政府から公表されている排出係数、Scope3（外部の原材料等）はインベントリデータベース（AIST-IDEA）より該当する項目の排出係数を採用しています。なお、他社製品と横並びでのデータ比較は出来ないことをご留意ください。

当社は、2050 年カーボンニュートラル社会の実現に向けて、自社の GHG 排出量削減に継続的に取り組むことで、当社フィルムの製品 GHG 排出原単位の改善に努めてまいります。

■当社フィルムの製品 GHG 排出原単位_2024 年度

機能別製品分類	製品GHG排出原単位 kg-CO2e/kg	備考
ＯＰ 二軸延伸ポリプロピレンフィルム	3.1	一般グレード
ＣＰ 無延伸ポリプロピレンフィルム	3.0	一般グレードなど
T.U.X™ L-LDPEフィルム	3.3	一般グレード
ハイシート® 低発泡PEシート/パッキング材	4.2	ー
パロニアシリーズ® 低発泡PP/PEシート	3.4	ー

算定範囲：Cradle to Gate

アールエム東セロ株式会社

■算定条件

当社は以下の条件で製品 GHG 排出原単位を算定しています

項目	内容
保証・検証の有無	製品GHG排出原単位は、自主算定による算定で第三者保証・検証を受けていません。
バウンダリ	製品GHG排出原単位は、組織ベース排出量データでCradle-to-Gateで示しています。 算定対象に含まれるのは、Scope1,Scope2,Scope3-1,3-3,3-4,3-5となります。 機能別単位(製品分類毎)で示しています。
除外項目・カットオフルール	算定範囲から除外された項目や活動はありません。
依拠した算定スタンダード	GHGプロトコルスタンダードに準拠して算定、組織ベース排出量データを按分しています。
算定対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日
地理的範囲	アールエム東セロ株式会社と四国トーセロ株式会社を対象。（国内のみ反映しています）
Scope1,2,3の内訳	非開示とさせて頂きます。
使用した活動量の種類	非開示とさせて頂きます。
使用した排出原単位	AIST-IDEA ver.3.5 環境省_算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧_DB ver.3.5
1次データ比率	製品GHG排出原単位の算定にあたり、上流のサプライヤーから直接入手したデータは使用していません。
その他	現時点で入手できる資料、情報、データに基づき算定していますが、国のガイドラインなど信頼できる機関で策定中のガイドラインや新たなデータ入手など、新しい知見等により予告なく算定方法及び算定値を改訂する場合があります。

■参照したガイドライン

・GHG プロトコルスタンダード

・サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン ver.2.7　2025 年 3 月
　環境省、経済産業省

・ISO14040:2006、ISO14044：2006、ISO14064：2018、ISO14067:2018

・CFP 算定ガイドライン 2023 年 5 月　経済産業省、環境省

・化学産業における製品のカーボンフットプリント算定ガイドライン 2023 年 3 月
　一般社団法人_日本化学工業協会

・１次データを活用したサプライチェーン排出量算定ガイド ver.1.0　2025 年 3 月_環境省

■問い合わせ先

・ホームページ：アールエム東セロ株式会社　HP_ “お問合せ” を活用願います。
　https://rmtohcello.com/

・詳細は営業担当者にお問い合わせください